

## ドイツ語プレゼンテーション

科目責任者 能 登 慶 和  
学年・学期 1 学年・3 学期

## I. 前 文

近年では様々なICTツールを用いた学習が盛んになっている。本講義では、動画共有サービスFlipgridを用いてドイツ語による簡単なプレゼン動画を複数作成し、ドイツの医療系大学で学ぶ学生との交流を図りながら、自ら発信する力を養う。

## II. 担当教員

能 登 慶 和 (語学・人文教育部門)

## III. 一般学習目標

コミュニケーションツールの一つとしてICTツールを駆使し、ドイツ語で自分や身の回りのことについて自ら発信できるようになる。

## IV. 学修の到達目標

1. 自己紹介ができる。
2. 自分が住んでいる街について紹介できる。
3. 自分が学んでいる大学について紹介できる。
4. 正しい発音ができる。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1:反転授業の要素を含む授業(知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2:ディスカッション, デイバート 3:グループワーク 4:実習, フィールドワーク 5:プレゼンテーション  
6:その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブラーニング
1	11	16	水	4	自己紹介の表現	能 登 慶 和	1
2		30	水	3	街の紹介の表現		1
3	12	7	水	4	大学の紹介の表現		1
4		14	水	4	Flipgridの使い方		3
5	1	4	水	4	自己紹介プレゼンテーション作成		5
6		11	水	4	街の紹介プレゼンテーション作成		5
7		18	水	4	大学の紹介プレゼンテーション作成		5

## VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

授業を通じて学習を重ね、プレゼンテーション用に作成されたシナリオを形成的評価(30%)、最終プレゼンテーションに対するルーブリック評価を総括的評価(70%)として総合評価する。

Ⅶ. 教科書・参考書・A V 資料

適宜プリントを配布する。

Ⅶ. 質問への対応方法

随時受け付ける。

Ⅸ. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	◎
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題等については授業またはLMSを通じて適宜フィードバックを行う。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊参照。必ず資料等で予習をし、また必要に応じてLMS等で復習を行うこと。

XII. コアカリ記号・番号

A-7-2)